



# 平成27年5月期 決算説明会

東証2部 6496



<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成27年8月3日 大阪



- I . 会社概要
- II . 平成27年5月期 実績
- III . 平成28年5月期 見通し
- IV . 今後の展望
- V . コーポレートデータ



# I . 会社概要

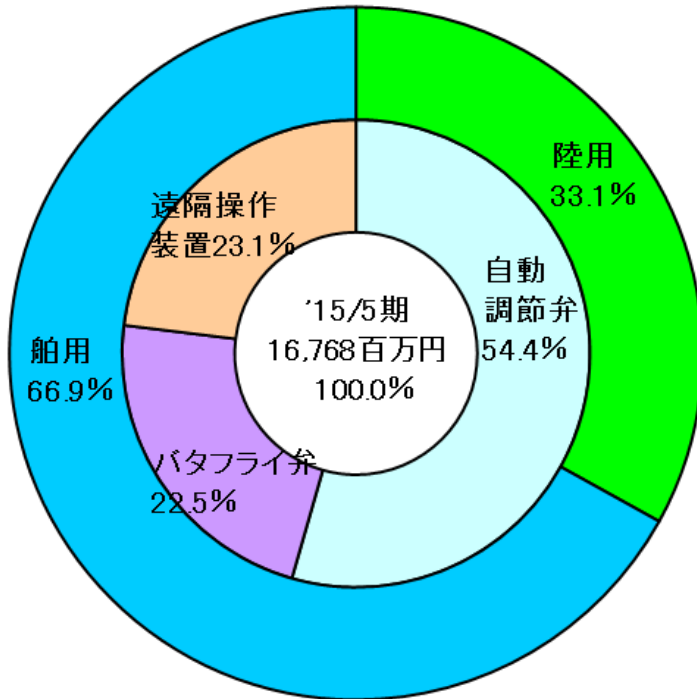


# 1.概要

会社名	株式会社中北製作所
代表者	中北 健一
所在地	大阪府大東市
設立	1937年5月
資本金	1,150百万円
事業内容	自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置製造
従業員数	341名(2015年5月末現在)

## 2.事業内容

当社は船舶や火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している



品種別用途

陸船別	用途		品 種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船舶	カーゴライン	タンカー		◎	◎
	バラストライン	全船種		◎	◎
	機関室	全船種	◎		
陸用	発電プラント	火力発電	◎	○	
		原子力発電	◎	○	
		ガスタービン発電	◎	○	
	その他	ケミカルプラント等	○	○	

# 3. 製品

## 船用製品 (自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置)



中小型船舶から原油運搬用の大型タンカー、さらに環境にやさしい天然ガスを運搬するLNG船まで、船舶輸送を支えているのは中北ブランドです。

中北製作所の製品は船舶用にも多く使用されており、バラ積み船、タンカー、LNG船などの幅広い分野の船舶においてカーゴ及びバラストラインのバタフライ弁をコントロールパネルから遠隔操作し、船体姿勢制御や荷役制御のサポートをしています。また、船舶用エンジンに関わる燃料油加熱装置や主機清水冷却装置、主機潤滑油冷却装置などで、燃料油の温度を一定に制御することやエンジンの冷却水制御、エンジンに冷却した潤滑油を送り込むといった大切な役割も担っています。

【船舶を支える中北ブランド】  
Ships Supported by NAKAKITA Brand

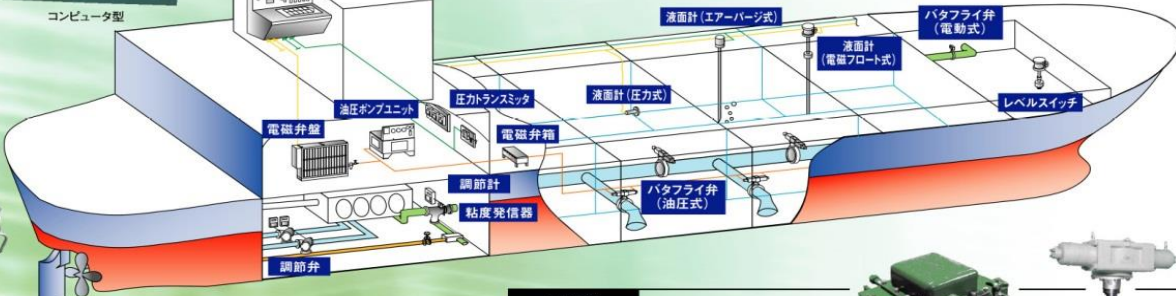
### カーゴ/バラスト 弁遠隔操作システム



### バタフライ弁



### 液面指示装置



### LNG船



### 自動制御機器 (機関室・ポンプルーム)

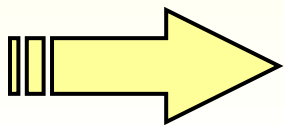


# 船舶におけるワンストップ・ソリューション



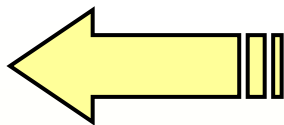
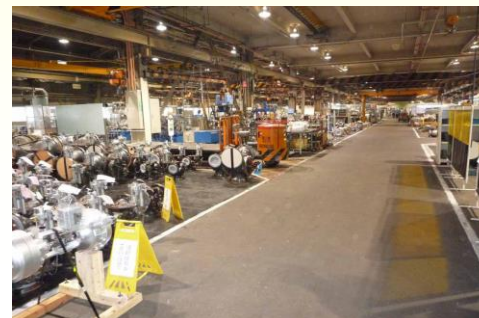
- 遠隔操作装置、バタフライ弁、機関室用調節弁を一括製造しているメーカー
- 品質の信頼性ときめ細かなアフターサービス体制

お客様



中北製作所

一括製造販売・アフターサービス



流体制御システム製品

遠隔操作装置

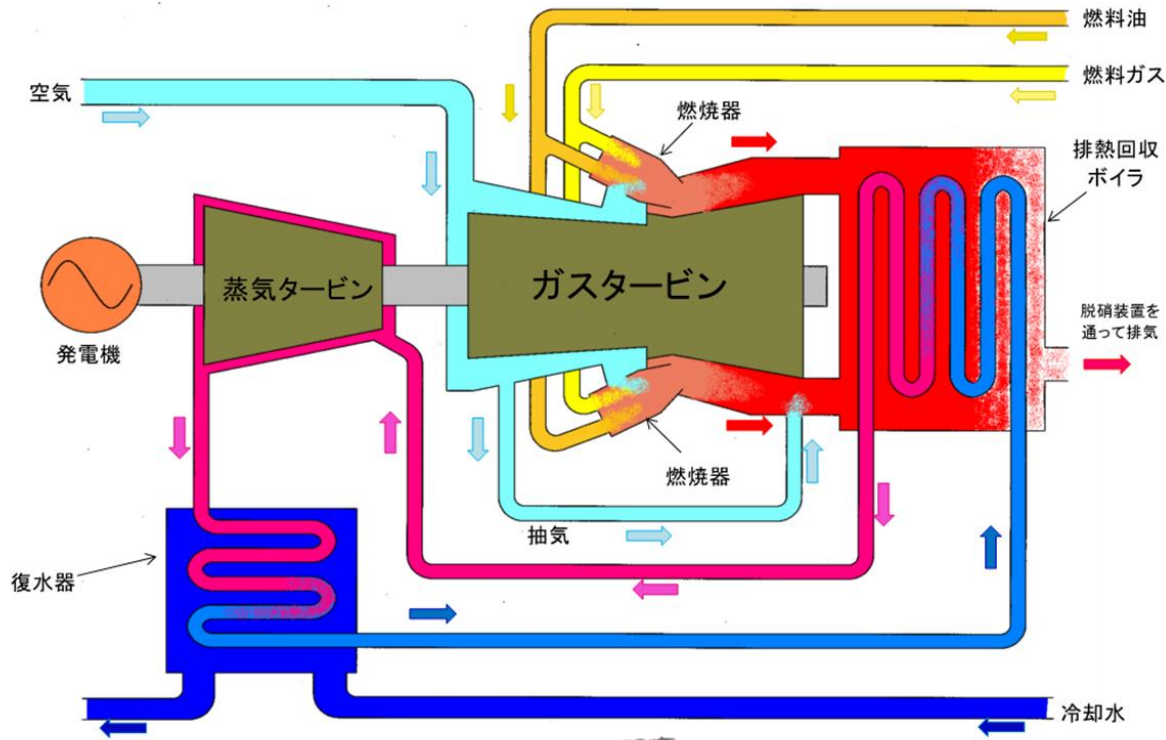
バタフライ弁

自動調節弁

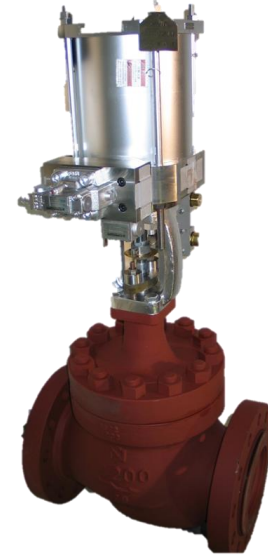




# ガスタービンコンバインドサイクル火力発電所用制御弁



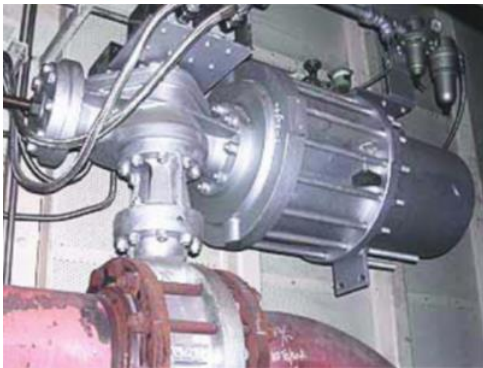
燃料ガス制御弁



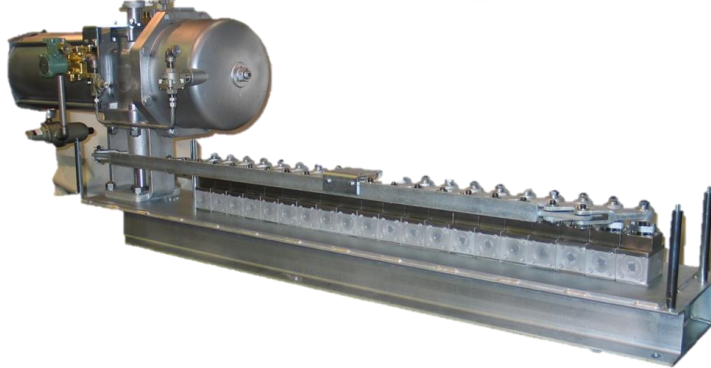
燃料ガス遮断弁



燃料ガス温度制御弁



コンプレッサ抽気弁



20連ボール弁



パージエアON/OFF弁



潤滑油圧力制御弁



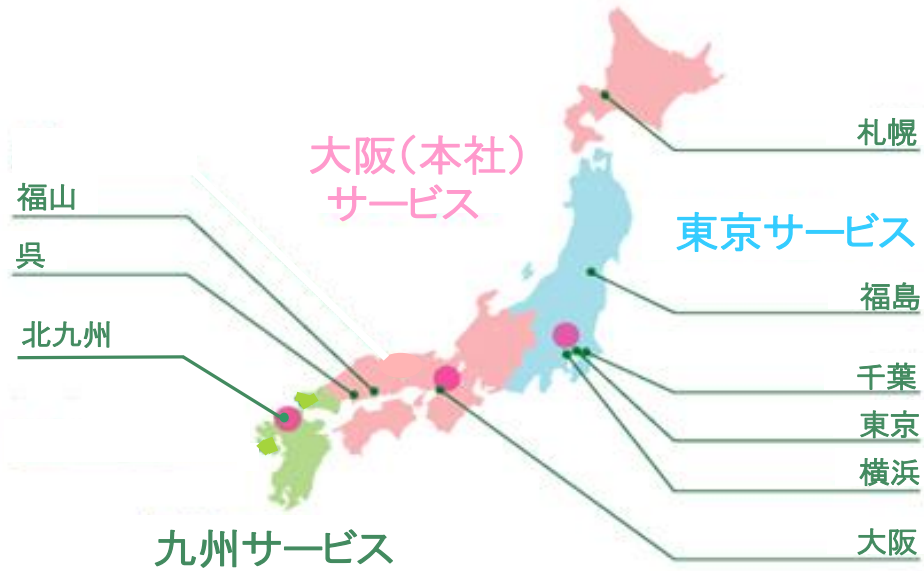
潤滑油温度制御弁



# サービス網



## 国内サービス網



## 本社



## 海外サービス網



## 4. 中北製作所の特徴と強み～まとめ～

1. 高品質・多種多様なバルブを最新の生産技術と管理技術を駆使して生産
2. 顧客のニーズに対応した完全受注生産
3. 船舶用のバルブはハード面だけでなくコントロールシステムまでを一括生産
4. 技術サポート、メンテナンスなど製品ライフサイクルの全てに対応
5. 国内のほとんど全ての発電所に納入実績を持ち陸上発電プラントにも強み
6. 省エネ環境船や次世代高効率発電システム等、急進する技術革新に対処し、顧客ニーズに即した製品開発
7. 高度な品質管理体制に基づき、全製品の全数製品検査の実施並びに極低温・高温環境での実証試験環境の整備



## Ⅱ．平成27年5月期 実績



# 1. 概要

単位：百万円、%、円

	14/5	15/5	前年同期比		15/5 H27.01 修正計画	同修正計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	18,387	16,768	▲1,618	▲8.8	16,500	268	1.6
営業利益	1,349	780	▲569	▲42.2	840	▲59	▲7.1
経常利益	1,528	963	▲565	▲37.0	1,040	▲76	▲7.4
当期純利益	917	595	▲322	▲35.1	650	▲54	▲8.4
一株当たり当期純利益	48.25	31.49			34.39		
一株当たり配当金	20.00	20.00			20.00		
総資産	25,298	25,346					
純資産	19,181	19,516					

■売上高は、平成27年1月修正計画を若干上回った。

■利益面に関しては、船用関連の売上、収益が想定よりも厳しく、営業利益、経常利益、当期純利益は平成27年1月修正計画を下回った。

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位: 百万円、%

	14/5	15/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	8,792	9,061	269	3.1
バタフライ弁	4,642	3,746	▲896	▲19.3
遠隔操作装置	4,657	3,840	▲817	▲17.5
生産高合計	18,092	16,648	▲1,444	▲8.0

受注高

	14/5	15/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	8,966	8,729	▲237	▲2.6
バタフライ弁	4,511	4,993	481	10.7
遠隔操作装置	5,061	5,004	▲56	▲1.1
受注高合計	18,539	18,727	187	1.0

受注残

	14/5	15/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,526	4,128	▲397	▲8.8
バタフライ弁	2,574	3,794	1,219	47.4
遠隔操作装置	2,789	3,926	1,136	40.8
受注残合計	9,890	11,849	1,959	19.8

### ■生産高(前年同期比8.0%の減)

生産高は、自動調節弁が前年同期比3.1%と微増したものの、バタフライ弁、遠隔操作装置が同19.3%、同17.5%と減少し、全体では同8.0%の減少となった。

### ■受注高(同1.0%の増)

船用関連の受注を背景に、バタフライ弁が前年同期比10.7%増加し、自動調節弁の落ち込みをカバーし、全体では同1.0%の微増となった。

### ■受注残(同19.8%の増)

受注高は前期並みを維持し、売上高を上回ったため、受注残は同19.8%増加となった。



### 3.部門別売上高

単位：百万円、%

	14/5	15/5	15/5		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	8,935	9,126	191	2.1	54.4
バタフライ弁	4,718	3,773	▲945	▲20.0	22.5
遠隔操作装置	4,733	3,868	▲865	▲18.3	23.1
合計	18,387	16,768	▲1,618	▲8.8	100.0

単位：百万円、%

	14/5	構成比	15/5	15/5		
				増減	同率	構成比
陸用	5,905	32.1	5,542	▲362	▲6.1	33.1
船用	12,481	67.9	11,225	▲1,256	▲10.1	66.9
合計	18,387	100.0	16,768	▲1,618	▲8.8	100.0

- 前期で終了した内航タンカーの特需の影響で、バタフライ弁が前年同期比20.0%、遠隔操作装置同18.3%とそれぞれ減少し、全体では同8.8%の減少となった。
- 船用は前期に比べ、12.5億円減少(前年同期比10.1%減)した。



## 4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	14/5	15/5	15/5		
			増減	同率	構成比
国内	15,008	13,849	▲1,158	▲7.7	82.6
韓国	1,033	705	▲327	▲31.7	4.2
中国(香港)	1,839	1,810	▲29	▲1.6	10.8
その他	506	403	▲102	▲20.3	2.4
合計	18,387	16,768	▲1,618	▲8.8	100.0
輸出比率	18.4	17.4	▲1.0		

■韓国向は、前年同期比31.7%、その他海外向が同20.3%と大きく減少し、輸出比率は17.4%で同1.0%の減少となった。



# 5. 損益計算書

単位:百万円、%

	14/5		15/5			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	18,387	100.0	16,768	▲1,618	▲8.8	100.0
売上原価	15,369	83.6	14,315	▲1,053	▲6.9	85.4
売上総利益	3,017	16.4	2,452	▲564	▲18.7	14.6
販売費・一般管理費	1,667	9.1	1,672	4	0.3	10.0
営業利益	1,349	7.3	780	▲569	▲42.2	4.7
営業外損益	178	1.0	183	4	2.4	1.1
経常利益	1,528	8.3	963	▲565	▲37.0	5.7
特別損益	0	-	0	0	-	-
税引前当期純利益	1,528	8.3	963	▲565	▲37.0	5.7
法人税等	611	3.3	368	▲243	▲39.8	2.2
当期純利益	917	5.0	595	▲322	▲35.1	3.6

■売上は対前年同期比8.8%の減少。

■利益面では、内航タンカーと急速な円安による収益寄与があった前期に比べ、大幅な減益となった。  
営業利益は対前年同期比42.2%、経常利益は同37.0%、当期純利益は同35.1%の減少。





単位:百万円

## 6. 貸借対照表

	14/5	15/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	19,167	19,348	180	
現金・預金	6,655	5,683	▲971	
売上債権	7,503	7,472	▲30	
棚卸資産	3,718	3,754	36	
その他	1,290	2,437	1,146	短期運用 1200
固定資産合計	6,130	5,998	▲132	
有形固定資産	3,323	3,229	▲94	減価償却 284 投資 180
無形固定資産	31	20	▲10	
投資その他の資産	2,775	2,748	▲26	
資産合計	25,298	25,346	48	
流動負債合計	5,966	3,598	▲2,368	
支払手形・買掛金	2,886	2,919	33	
1年以内返済長期借入金	1,850	0	▲1,850	長期借入 1,850
その他	1,230	678	▲551	前期 法人税等 555 今期 法人税等還付
固定負債合計	149	2,231	2,082	長期借入 1,850 退職給付引当金 156
負債合計	6,116	5,829	▲286	
純資産合計	19,181	19,516	334	
負債・純資産合計	25,298	25,346	48	



## Ⅲ. 平成28年5月期見通し



# 1. 概要

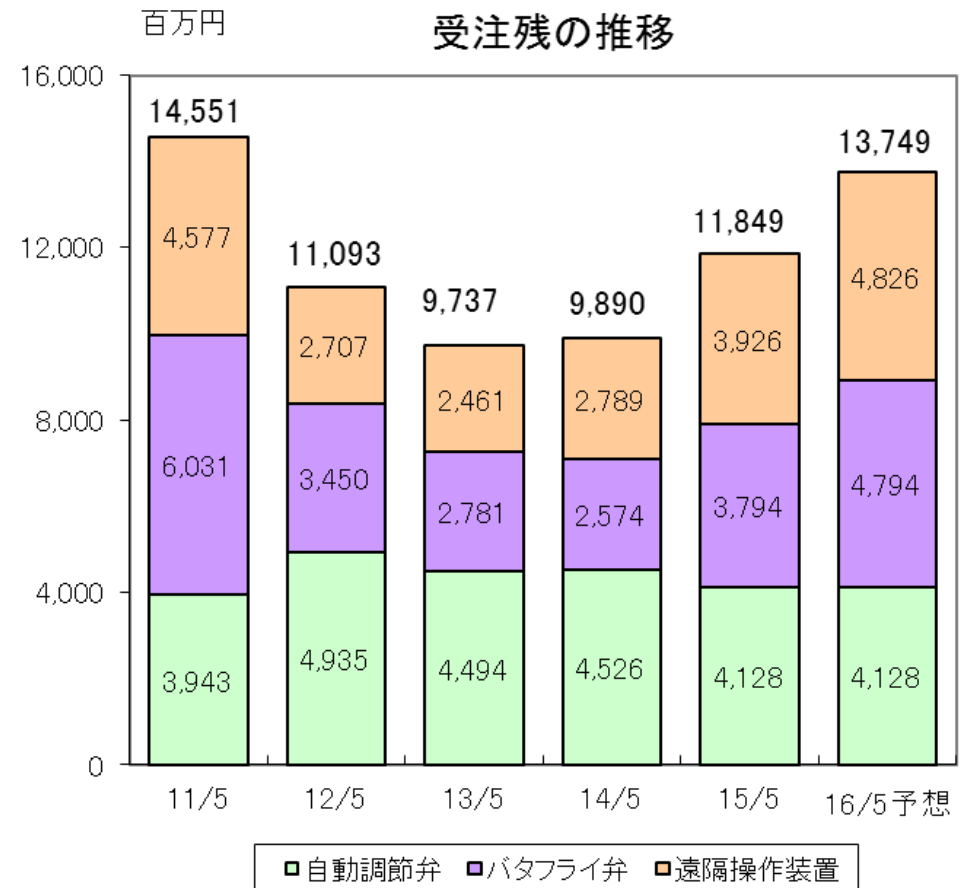
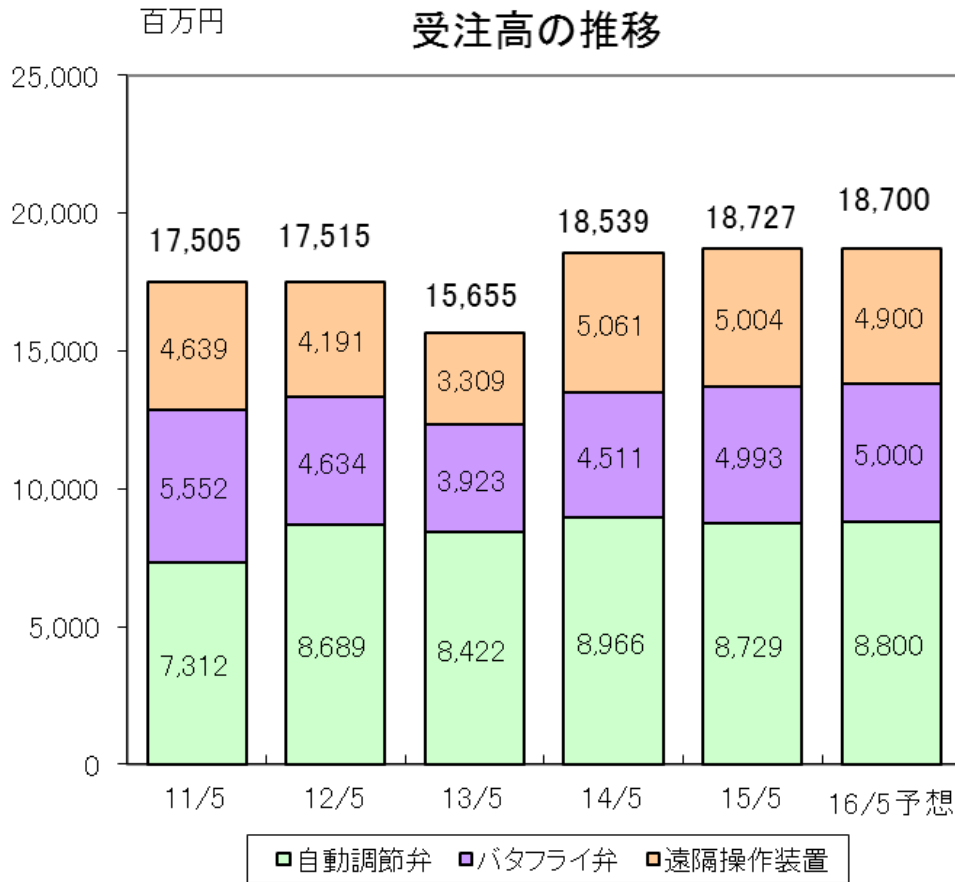
## 見込み

単位:百万円、%、円

	15/5	16/5	前年同期比	
			増減	同率
			売上高	16,768
営業利益	780	780	▲0	▲0.0
経常利益	963	960	▲3	▲0.3
当期純利益	595	645	49	8.3
一株当たり利益	31.49	34.12		
一株当たり配当金	20.00	20.00		

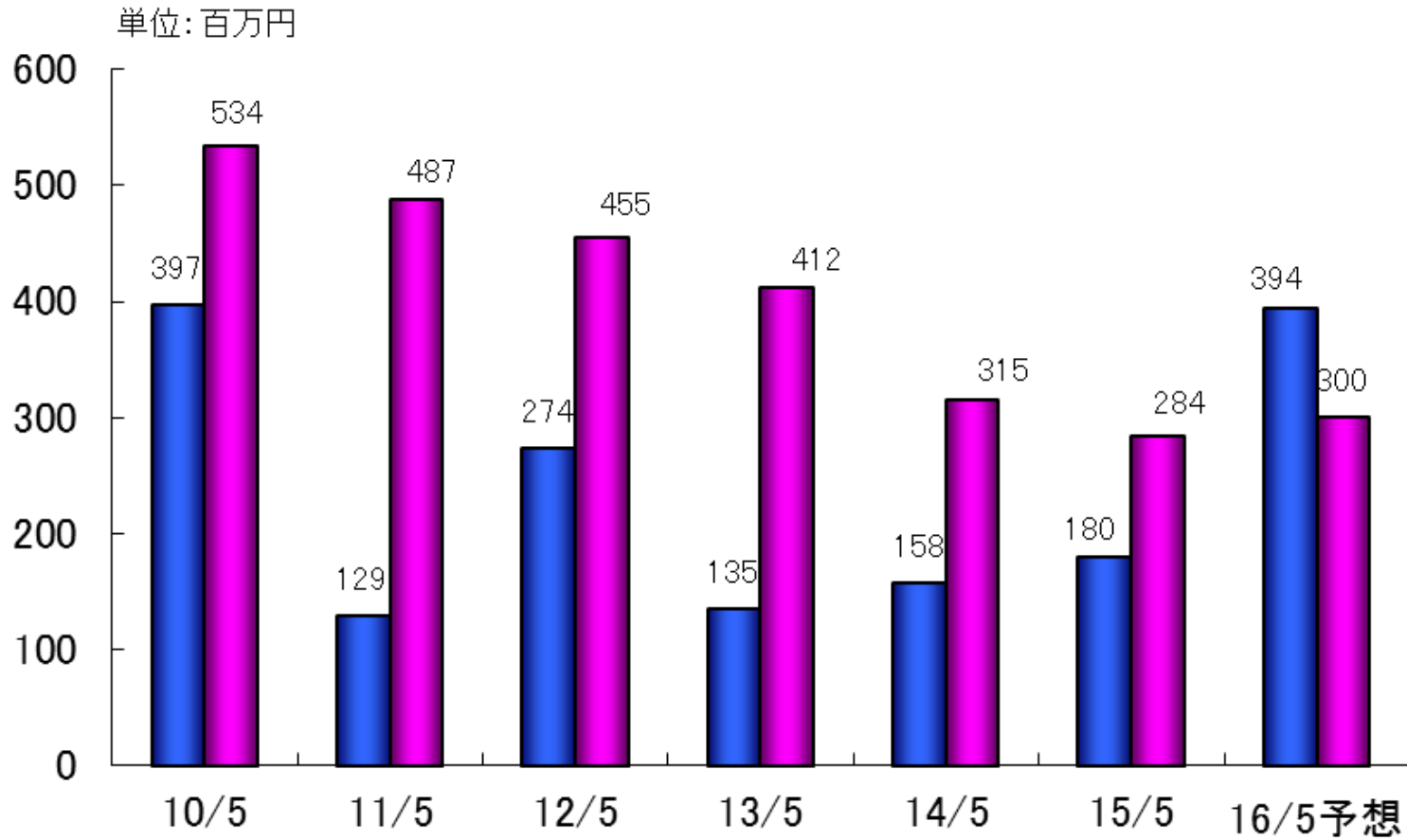
■新造船マーケットの低迷により、厳しい状況が続くなか、売上・収益とも前期並みを維持する計画。



## 2. 受注・受注残の見通し



■ 国内の景気は緩やかな回復基調にあるものの、造船業界においては船種により需給の差と波が大きく、価格競争も厳しいため、受注獲得に向けたきめ細かな営業活動に注力し、受注高187億を目指す。

### 3. 設備投資と減価償却費の見通し



 ... 設備投資  
 ... 減価償却費

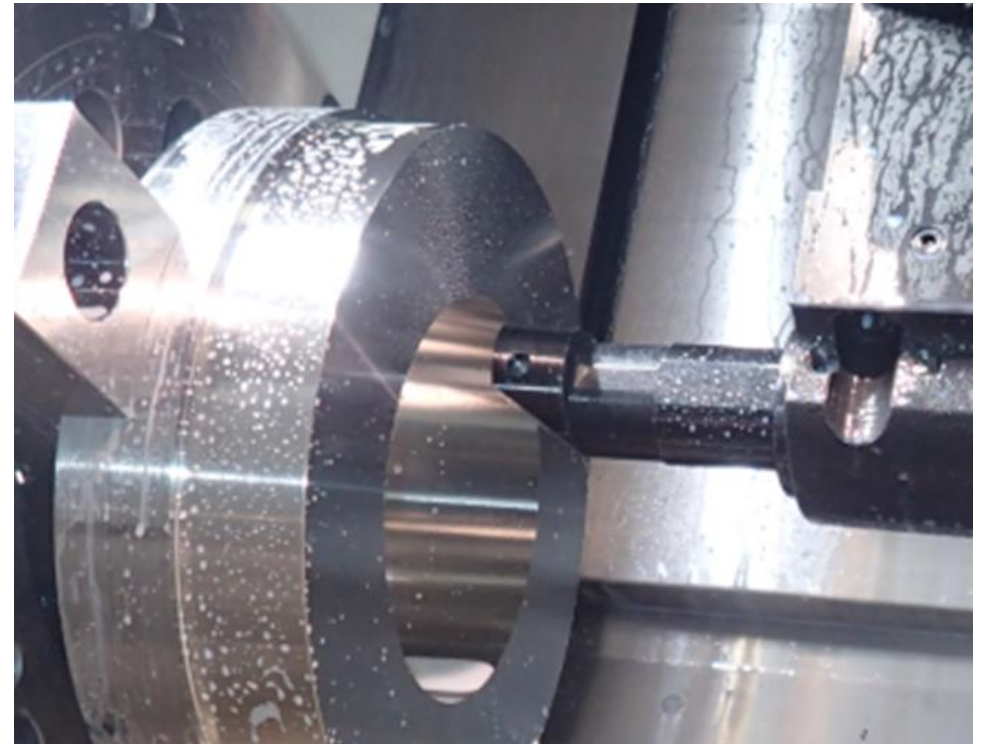


## IV. 今後の展望

# 1. トピックス

## 1. 高性能マシンの導入

高剛性・高精度CNC旋盤の導入により、生産性を従来比1.52倍に



## 2. 機械加工における技能レベルのアップと技能の伝承

加工者一人ひとりの課題、目標を明確にした上で、OJTと自己学習により技能レベルのアップと技能の伝承を実施。進捗と課題の確認のため、**社内技能試験（実技と学科）**を行い、レベルを認定。社内技能認定は技能検定（国家検定）と連動させて運用。



社内技能認定

技能検定（国家検定）

NC旋盤	レベル3～5	12名
汎用旋盤	レベル3～5	8名
マシニングセンタ	レベル3～5	6名
ボール盤	レベル3～5	4名

数値制御旋盤	1～3級	11名
普通旋盤	1～3級	9名
マシニングセンタ	1～3級	3名
ボール盤	1～2級	0名



## 2.中長期的な経営戦略～

# 信頼されるものづくり企業としての勝ち残り

企業価値確保・向上への取り組み

### 生産性向上活動

・継続的な製造強化のために生産性向上に関する改善への取り組みを行い、変化への機敏な対応ができる体制づくり

### 原価低減活動

・品種ごとのコスト分析、設計や工法見直し等によるコストダウンへの取り組み  
・不適合・ムダの排除による原価低減

### 開発提案型の営業活動

・常にお客様とコミュニケーションを取りながら、他社より一歩先んじた提案のできる顧客ニーズに基づく開発提案型の企業を目指す

### 人材育成

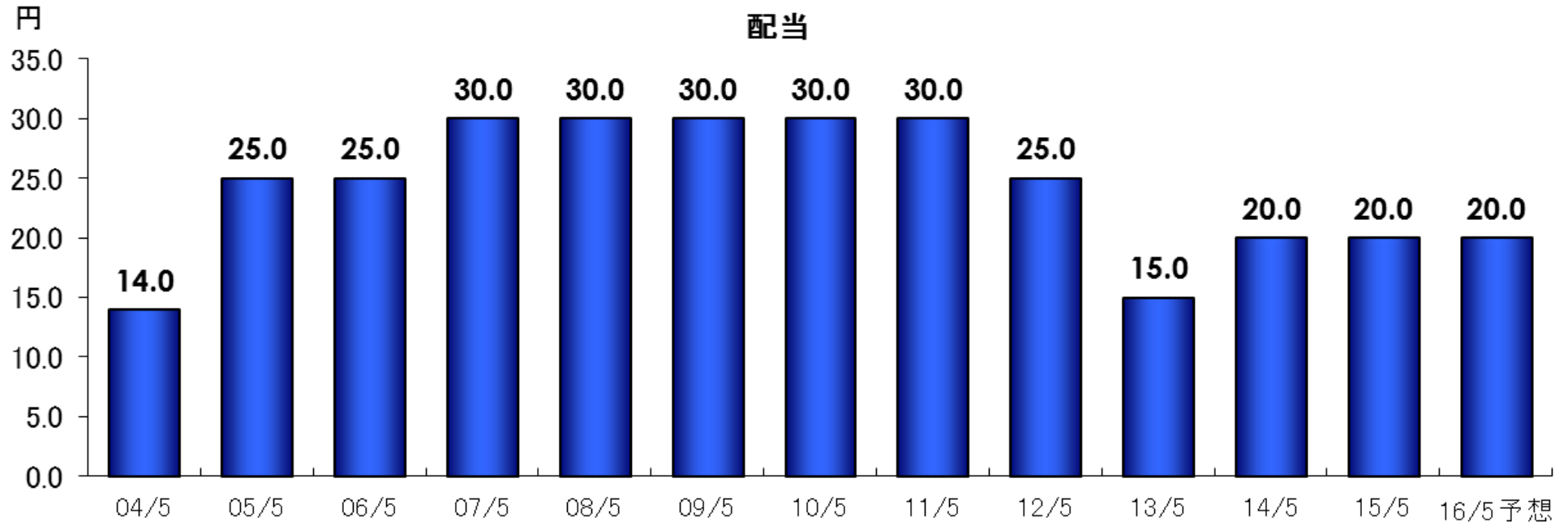
・技能レベルアップと技能伝承

### 【当社の企業価値】

- 1.熟練した技術を有する人的資産及び高度な品質管理体制に裏打ちされた高度な技術力・品質管理力
- 2.長年にわたる顧客との強固な関係
- 3.創業以来、脈々と生き続ける「フロンティア・スピリット」(進取発展)

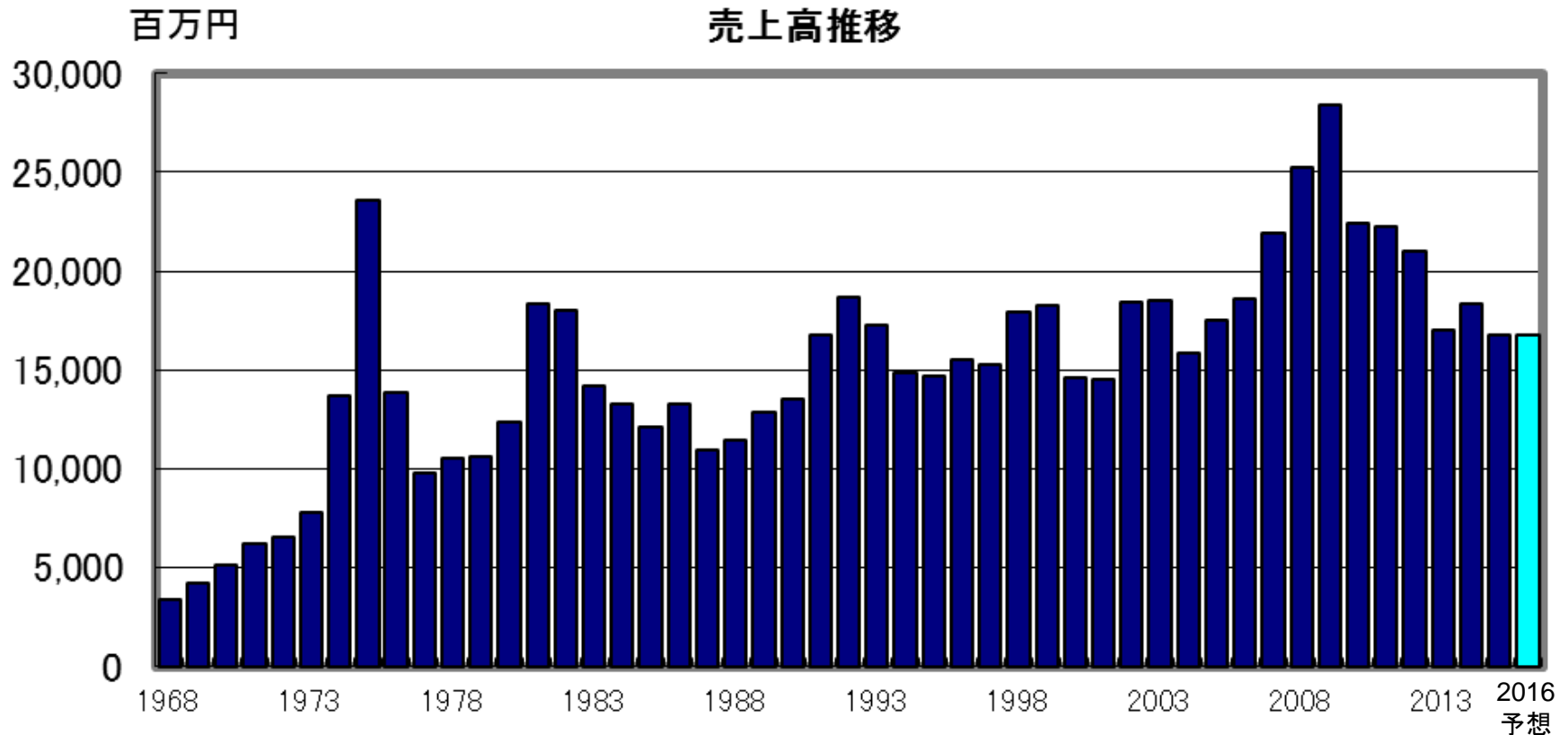


### 3.配当実績・予想



# 4. まとめ

■国内の景気は緩やかな回復基調にあるものの、造船業界におきましては、船種により需給の差と波が大きく、価格競争も厳しい状況にあります。このような環境のなか、受注獲得に向けたきめ細かな提案型の営業活動に注力し、不適合・ムダの排除による原価低減に努め、生産性向上活動に取り組み、技能伝承、人材育成をすすめることにより、**信頼されるものづくり企業**として、厳しい競争に勝ち抜いていく所存であります。





# V. コーポレート・データ



単位:百万円、%、円

	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
売上高	22,228	20,973	17,012	18,387	16,768	16,800
営業利益	1,921	1,753	588	1,349	780	780
営業利益率	8.6	8.4	3.5	7.3	4.7	4.6
経常利益	2,023	1,902	771	1,528	963	960
経常利益率	9.1	9.1	4.5	8.3	5.7	5.7
当期利益	1,145	1,042	468	917	595	645
当期利益率	5.2	5.0	2.8	5.0	3.6	3.8
総資産	24,243	24,791	23,828	25,298	25,346	
株主資本	17,952	18,420	18,456	18,976	19,024	
株主資本比率	74.1	74.3	77.5	75.0	75.1	
株主資本利益率	6.4	5.7	2.5	4.8	3.1	
1株当たり利益	59.8	54.5	24.4	48.3	31.5	34.1
1株当たり配当金	30.0	25.0	15.0	20.0	20.0	20.0



単位:百万円

陸船別売上	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
陸用売上	5,242	5,492	5,992	5,905	5,542	5,400
船用売上	16,985	15,480	11,019	12,481	11,225	11,400
合計	22,228	20,973	17,012	18,387	16,768	16,800

品種別売上	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
自動調節弁	8,135	7,697	8,863	8,935	9,126	8,800
バタフライ弁	7,535	7,214	4,593	4,718	3,773	4,000
遠隔操作装置	6,557	6,061	3,555	4,733	3,868	4,000
合計	22,228	20,973	17,012	18,387	16,768	16,800

生産	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
自動調節弁	8,122	7,738	8,700	8,792	9,061	8,800
バタフライ弁	7,524	7,241	4,514	4,642	3,746	4,000
遠隔操作装置	6,528	6,086	3,487	4,657	3,840	4,000
合計	22,175	21,066	16,702	18,092	16,648	16,800

受注	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
自動調節弁	7,312	8,689	8,422	8,966	8,729	8,800
バタフライ弁	5,552	4,634	3,923	4,511	4,993	5,000
遠隔操作装置	4,639	4,191	3,309	5,061	5,004	4,900
合計	17,505	17,515	15,655	18,539	18,727	18,700

受注残	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
自動調節弁	3,943	4,935	4,494	4,526	4,128	4,128
バタフライ弁	6,031	3,450	2,781	2,574	3,794	4,794
遠隔操作装置	4,577	2,707	2,461	2,789	3,926	4,826
合計	14,551	11,093	9,737	9,890	11,849	13,749



・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。